



Microsoft® Lync® 2010 環境 での Polycom® 電話機の使用

クイック ユーザ ガイド

本ガイドは、Polycom® UC Software 4.1.0 以降が搭載された SoundPoint® IP 321/331、335、450、550、560、650、SoundStation® IP 5000 および SoundStation Duo™、VVX® 500 および VVX® 1500、Spectralink® 8400 シリーズハンドセットの各モデルを対象としています。

なお、Spectralink 8400 シリーズ ハンドセットは、日本国内での販売および使用はできませんのでご注意ください。

画面の表示は製品によって異なるため、本ガイドの表示と異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。さらに詳しい内容については、[サポート Web ページに掲載されている該当製品のクイック ユーザ ガイド](#)および[ユーザガイド](#)をご参照ください。

当社では、マニュアルの品質の改善努力を続けておりますが、皆様からのご意見を歓迎いたします。ご意見は、VoiceDocumentationFeedback@polycom.com への電子メールでお寄せください。

ソフトウェアのダウンロード、製品のマニュアル、製品のライセンス、トラブルシューティングのヒント、サービス要求などについては、support.polycom.com をご参照ください。

www.polycom.com | 1725-47139-002 RevA | 2012 年 8 月

© 2012, Polycom, Inc. All rights reserved. Polycom®, Polycom のロゴデザイン、Polycom 社製品の製品名およびマークは、Polycom, Inc. の商標および (または) サービスマークであり、アメリカおよびその他の国における登録商標および (または) 慣習法で認められたマークです。他のすべての商標は、それぞれの会社が所有しています。これに関していかなる部分も、その形態や手段、または譲受人の個人利用を除く一切の目的を問わず、Polycom の書面による許可を受けずに複製または転送することを禁止します。

ご使用の電話機について

ご使用の電話機の使い方については、Polycom [サポート Web ページ](#)に掲載されている該当製品のクイック ユーザ ガイドをご参照ください。

- SoundPoint IP [321/331](#)、[335](#)、[450](#)、[550](#)、[560](#)、および [650](#)
- SoundStation IP [5000](#) および SoundStation [Duo](#)
- VVX [500](#) および [1500](#)
- Spectralink [8400](#) シリーズ

本ガイドでは、Microsoft® Lync® 環境における電話機の動作についてご説明し、特に Microsoft® Lync® Server 2010 のプレゼンス機能による動作の違いについては詳しくご説明します。



Web 情報: カレンダー機能の使用

Spectralink 8400 シリーズ ハンドセットと、VVX 500 および VVX1500 のカレンダー機能を使用する場合、『[Spectralink 8400 Series Wireless Handset User Guide](#)』、『[VVX 500 Phone User Guide](#)』、または『[VVX 1500 Phone User Guide](#)』をご参照ください。

Lync プレゼンスのアイコン

以下の表は、Polycom 電話機に表示される Lync プレゼンスのアイコンを示します。

表 1: SoundPoint IP 電話機および SoundStation IP 電話機のプレゼンスのアイコン

アイコン	説明
	[有効]
	[取り込み中]、[応答拒否]、[通話中]
	[退席中]、[一時退席中]、[非アクティブ]
	[応答拒否]
	[オフライン]
	[不明]

表 2: VVX 電話機および SpectraLink 8400 シリーズハンドセットのプレゼンスのアイコン

アイコン	説明
	[有効]
	[取り込み中]、[通話中]
	[退席中]、[一時退席中]、[非アクティブ]
	[応答拒否]
	[オフライン]
	[不明]

電話機の機能

Lync によって、すべての Polycom UCS テレフォニー機能、プレゼンス、および IM を使用することができます。Lync 対応の電話機にサインインするには、サインインのアドレス、ユーザ名、およびパスワードが必要です。サインインすると、以下の操作を行うことができます。

- 通話への応答、通話の発信、および通話の終了
- 通話の保留および通話の再開
- 通話の転送 (トランスファー)
- 会議通話の設定
- 着信の転送 (フォワード)
- ボイスメールへのアクセス
- プレゼンス状態の設定
- Lync 連絡先の管理
- インスタントメッセージの送受信



ヒント: [詳細] ソフトキーを押す場合

ソフトキーの一番右の位置に [詳細] ソフトキーが表示される場合、このキーを押して、追加のソフトキーを表示させます。

[詳細] ソフトキーは、[サインイン]、[サインアウト]、[連絡先]、および [追加] ソフトキーを表示させるときに必要なことがあります。



メモ: Lync がホストとなる会議通話はサポートされません。

ご使用の Polycom 電話機では、Lync がホストとなる会議通話を開始、分割、または終了することはできません。

Lync へのサインイン

ご使用の電話機で Lync にサインインすると、Lync 連絡先への通話の閲覧および発信を行うことができます。ご使用の電話機がネットワークに初めて接続されたとき、Lync の [サインイン] 画面が表示されます。

その後は、以下の 2 つの方法で、[サインイン] 画面および [サインアウト] 画面にアクセスすることができます。

- [サインイン] ソフトキーまたは [サインアウト] ソフトキーを押します。
- [メニュー] キーを押して、[設定] > [機能] > [Microsoft Lync] > [サインイン] または [サインアウト] を選択します。

以下の図は、さまざまな Polycom 電話機の Lync の [サインイン] 画面を示します。

図 1: SpectraLink 8400 シリーズのサインイン画面



図 2: VVX 500 のサインイン画面



Lync にサインインするには:

- 必要なサインインフィールドに入力します。システム管理者から、適切なサインインアドレス、ドメイン、ユーザ名、およびパスワードを取得します。
- 必要なフィールドの入力が完了したら、[サインイン] ソフトキーを押します。サインインに成功すると、回線が登録状態として表示されます。このあと、Lync 連絡先を追加して、それらのプレゼンス状態を確認することができます(「[Updating Your Microsoft Lync Contacts](#)」を参照)。



メモ: サインイン認証情報が利用できない

Lync 連絡先にアクセスできない場合、またはアカウントがロックされた場合は、システム管理者にお問い合わせください。



ヒント: 強力なパスワードを使用する

サインイン認証情報のパスワードを入力する場合は、所属する組織のパスワードポリシーに従います。たとえば、小文字と大文字、数字、および特殊文字を使用します。Polycom 電話機のすべてのパスワードには、ASCII、ラテン、カタカナ、およびキリル文字を使用することができます。

SoundPoint IP 321、331、および 335 の各電話機では、それぞれ [上] 矢印キーと [下] 矢印キーを押して大文字と小文字を切り替えることができます。

Lync からサインアウトするには:

- [サインアウト] ソフトキーを押します。

サインアウトすると、回線は未登録状態として表示され、プレゼンス状態はオフラインになり、電話機を使用して Lync 連絡先に連絡することができなくなります。



メモ: サインアウトすると、通話リストは削除される

ご使用の電話機で Lync からサインアウトすると、通話リストが削除されます。

Lync 連絡先の更新

Lync 連絡先リスト上の連絡先について、追加、削除、監視、および発信を行うことができます。



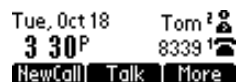
メモ: 電話機から Lync 連絡先を削除する

電話機から Lync 連絡先を削除すると、Lync アカウントのすべてのインスタンスから連絡先が削除されます。

以下の図は、さまざまな Polycom 電話機のホーム画面に Lync 連絡先が表示された状態を示します。

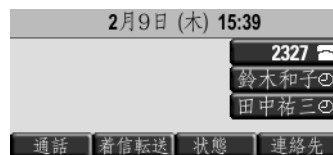
- この SoundPoint IP 335 電話機の画面では、Tom が連絡先です。Tom は連絡可能です。

図 3: SoundPoint IP 335 のホーム画面



- この SoundPoint IP 450 電話機の画面では、Betty と Michelle が連絡先です。ふたりとも退席中です。

図 4: SoundPoint IP 450 のホーム画面



- この VVX 500 電話機の画面では、Marie と Tom が連絡先です。Marie は退席中の可能性があり、Tom は連絡可能です (Don、George および Lauren は、[お気に入り]/[短縮ダイヤル] に登録されていることを示します)。

図 5: VVX 500 のホーム画面



ヒント: ホーム画面上の連絡先

ご使用の電話機のホーム画面に Lync 連絡先を表示させるには、コンピュータの Lync クライアントアプリケーションで、目的の連絡先を [よくやり取りする連絡先] としてピンでマークする必要があります。他のすべての Lync 連絡先にアクセスするには、[連絡先] ソフトキーを押します。

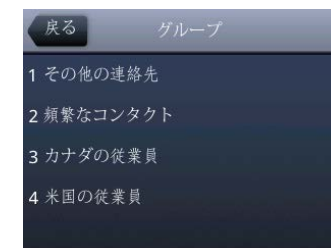
連絡先は、Lync 連絡先リストにアルファベット順に表示されます。連絡先は、以下の表に示すように、ご使用の電話機の最大連絡先数に達するまで、必要なだけ追加することができます。

表 3: 登録可能な最大連絡先数

電話機	連絡先数
VVX 500 / VVX 1500 SpectraLink 8400 シリーズ	200
その他の電話機	128

ご使用の電話機には、コンピュータ上の Lync クライアントで作成されたグループが表示されます。

図 6: VVX 500 上のグループ



メモ: 電話機上のグループ

電話機上では、新しいグループを作成したり、既存のグループを削除したりすることはできません。連絡先をグループ間で移動することもできません。

Lync への連絡先の追加

電話機の Lync 連絡先リストに、連絡先を手動で追加することができます。

- ホーム画面で [連絡先/通話履歴] アイコンを選択して、[OK] を押します。
- [連絡先] を選択し、[OK] を押します。
- [編集] および [追加] ソフトキーを押し、新しい Lync 連絡先を追加します。
- 連絡先のユーザ名を入力して、[送信] ソフトキーを押します。

図 7: SpectraLink 8400 シリーズの Lync 連絡先リスト



VVX 500 電話機で Lync 連絡先を追加するには:

- ホーム画面に [連絡先] ソフトキーが表示されている場合、これを押します。それ以外の場合は、[メニュー] キーを押して、[設定] > [機能] > [プレゼンス] > [連絡先] の順に選択します。
- [追加] ソフトキーを押します。
- 連絡先のユーザ名を入力して、[送信] ソフトキーを押します。

図 8: VVX 500 の Lync 連絡先リスト



SoundPoint IP、SoundStation IP、または VVX 1500 電話機で Lync 連絡先を追加するには:

- ホーム画面に [連絡先] ソフトキーが表示されている場合、これを押します。それ以外の場合は、[メニュー] キーを押して、[機能] > [プレゼンス] > [連絡先] の順に選択します。
- [追加] ソフトキーを押します。
- 連絡先のユーザ名を入力して、[送信] ソフトキーまたは [選択] キーを押します。

下図は、SoundPoint IP 335 電話機の [連絡先] 画面を示します。

図 9: SoundPoint IP 335 の Lync 連絡先リスト



メモ: Lync 連絡先リストと電話のローカル連絡先ディレクトリ

Polycom 電話は、デフォルトでローカル連絡先ディレクトリが指定されています。ローカル連絡先ディレクトリは、Lync 連絡先リストとは異なります。ローカル連絡先ディレクトリに追加された連絡先は、現在のユーザがサインアウトして別のユーザがサインインした後も保持されます。詳細については、「製品について」をクリックしてご使用の電話のクイック ユーザ ガイドを参照するか、システム管理者にご連絡ください。

Lync プレゼンス状態の更新

プレゼンス状態は、他の Lync 連絡先に対して、こちら側の連絡の可否を示します。

プレゼンス状態を変更するには:

- ほとんどの Polycom 電話機の場合は、[状態] ソフトキーを押すか、[メニュー] キーを押して、[機能] > [プレゼンス] > [状態] の順に選択して、目的のプレゼンス状態を選択します。
- SpectraLink 8400 シリーズ ハンドセットの場合は、[プロファイル] ソフトキーを押して、[状態] を選択し、目的のプレゼンス状態を選択します。

新しく設定されたプレゼンス状態は、連絡先に登録されているすべてのユーザに表示されます。プレゼンス情報は、ご使用の電話機がオフフック状態になった場合または [応答拒否] を有効に設定した場合にも表示されます。プレゼンス状態をリセットすると、[有効] または [通話中] (通話中の場合) に戻ります。

メモ: 電話機でのプレゼンス状態の変更
電話機上でプレゼンス状態を変更すると、コンピュータ上の Lync 2010 クライアントのプレゼンス状態も変更されます。

メモ: [応答拒否] 状態と [応答拒否] 機能の使用との相互作用

ご使用の電話機で [応答拒否] を有効にすると、Lync プレゼンス状態も自動的に [応答拒否] 状態に変更されます。ご使用の電話機で [応答拒否] を無効にすると、Lync プレゼンス状態も自動的に [有効] または [通話中] に変更されます。

Lync プレゼンス状態を [応答拒否] に更新すると、着信はボイスメールによる応答となり、[My Status: Do Not Disturb (★状態: 着信拒否)] がステータスバーに表示されます。プレゼンス状態を [応答拒否] に更新しても、電話機での [応答拒否] は有効にならず、電話回線表示の横には [応答拒否] アイコンは表示されません。

以下の図は、さまざまな Polycom 電話機のホーム画面に表示された異なるプレゼンス状態を示します。図 12 は、Lync 連絡先リスト上のモニターされている連絡先のプレゼンス状態を示しています。

図 10: SoundPoint IP 335 の [退席中] 状態



図 11: VVX 500 の [応答拒否] 状態



図 12: SpectraLink 8400 シリーズの Lync 連絡先リスト



通話の発信

通話は、ハンドセット、スピーカーホン、ヘッドセット、ダイヤルキー (SoundPoint IP 321、331、および 335 のみ)、回線キー、または Lync 連絡先リストという複数の方法のいずれかを使用して発信することができます。

- **通話を発信するには:** 通話する連絡先を選択して、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーホンをアクティベートします。

メモ: VVX 1500 電話機でのビデオ通話

VVX 1500 電話機相互、VVX 1500 電話機とこれに対応している Polycom ビデオ端末との間または VVX 1500 電話機と Lync 2010 クライアントとの間でビデオ通話を行うことができます。VVX 1500 電話機は、Polycom ビデオブリッジとビデオ通話することもできます。

以下の図は、さまざまな Polycom 電話機から Lync 連絡先への通話の発信方法を示します。

図 13: SpectraLink 8400 シリーズの通話の発信



図 14: VVX 500 での通話の発信



ヒント: フェデレーテッドコンタクトへの通話発信

他の企業や遠隔の連絡先に通話を発信するには、SIP URI オプションを使用することができます。詳細については、該当するユーザガイドをご参照ください。

ネットワークで通話の遅延が発生した場合、以下のメッセージのいずれかが表示されます。

- 「利用できる十分な帯域がありません。後からかけ直してください。」
- 「通話に遅延があります。」
- 「接続に時間がかかる可能性があります。」

緊急通話の場合、通話中ずっと、「これは緊急通話です」というメッセージが表示され続けます。

通話への応答

着信に応答すると、通話がアクティブになります。

着信はすべて、電話機の画面に表示されます。

下図は、Polycom 電話機の着信画面を示します。

図 15: SpectraLink 8400 シリーズでの応答



図 16: VVX 500 での通話応答



- 着信に応答するには: ハンドセットを持ち上げるか、スピーカーホンボタンを押すか、またはヘッドセットを使用します。

- アクティブな通話の最中に着信に応答するには: アクティブな通話の最中に他の通話を受信すると、待機中の通話があることを知らせるビープ音が鳴ります。着信のプロンプトも表示され、着信の発信者が特定されます。該当するソフトキーを押して、通話を無視、応答、または拒否することができます。

システム管理者からプライベート番号が与えられている場合は、この番号を相手先に通知して、相手先が直接連絡することもできます。下図は、専用回線での着信を示します。

図 17: VVX 500 でのプライベート通話への応答



通話の転送 (フォワード)

電話機への着信を他の Lync 連絡先または自身のボイスメールに転送 (フォワード) することができます。

[着信転送] を選択した場合、着信を転送する Lync 連絡先のユーザ名または番号を入力します。電話機にスクローリングメッセージが表示され、すべての着信を他へ転送するように設定されていることを知らせます。

下図は、Polycom 電話機の [転送タイプの選択] 画面を示します。この画面で、自動通話転送機能を選択して設定することができます。

図 18: SpectraLink 8400 シリーズでの自動通話転送の設定



図 19: SoundPoint IP 335 での自動通話転送の設定



インスタントメッセージの送受信

インスタントメッセージの送受信は、SpectraLink 8400 シリーズハンドセットでのみ可能です。詳細な手順については、『[SpectraLink 8400 Series Wireless Handset User Guide](#)』をご参照ください。